



四 気 折 々

川越町立川越中学校
学校だより 第15号
令和5年7月10日
・「通知表の見方」
について

令和5年度「川越中学校教育ビジョン」

『関わることを通して、人権が大切にされる「仲間づくり」』を柱として一人一人の子どもたちを大切にしたい5つの取り組みをすすめます。その一つ、川越中では「わかる・できたと思える授業」を大切にします。

明日からの三者懇談会を前にして『通知表の見方について』確認をします。通知表とは・・・「お子さまの学びを振り返り、これからのにつなげる重要な資料」です！

【保護者の皆さまへ 通知表とは・・・】

【2年数学学習熟度別授業の様子から】

「通知表」は、お子さまの「能力を決めつけるもの」ではありません。

通知表は、『成果と課題を共有』し『お子さまとともに振り返り』、これからのお子さまの成長の参考にする、そして、指標とするためのものです。

ですから、他のお子様と比較して「うちの子はこれしかできない」と捉えるのではなく、「お子さまの過去の姿」と比べ、「今、現状のお子さまの学習状況を知ること」とあわせて、「これまでの学習でこのような成果があって、これからはこういうところを頑張れば、こういうところを改善し継続できれば、もっと成長できそうだ」という捉え方として通知表を見ていただけたら嬉しいです。また、そもそも通知表でお伝えできるのは、お子さまの一部でしかありません。『通知表』という道具でお子さまの可能性をすべて決めつけるのではなく、さまざまな場面、さまざまな立場から見た成長を総合的に捉え、お子さまの成長を支え、お子さまの成長と、幸せを学校・ご家庭・生徒の三者にて考えていくということが川越中学校の基本スタンスです。



【1年技術授業の様子から】

【中学校ではじめての通知表】

小学校・中学校とも新しい学習指導要領になり、通知表などの成績のつけかたが以前と大きく変わっています。特に中学校1年生は、小学校と違って、初めて「(5～1の)5段階評定」で成績が出されるので、初めて中学校の通知表を見る保護者の皆さまは、大変気になることと思います。

まず、『成績はテストの点数だけで決まるものではありません』。他にも、授業に取り組む様子や課題提出レポートや作品のできばえや取り組んできた過程の評価など、いろいろな要素によって決められます。テストの点数だけではなく、授業に集中し、自分の考えを持ちながら、粘り強く学習することが大切です。また、5～1の評定は、『各教科の観点の達成度(A・B・C)』と合せて総合的につけて評価をすることになっています。

観点別評価は、①「知識・技能」 ②「思考・判断・表現」 ③「主体的に学習に取り組む態度」の3つで、下の□内のようにになっています。

上記の内容の**すべての根拠は、新年度各教科内で生徒配付をし説明とともに活用をした、『令和5年度川越中学校シラバス』**です。「シラバス(syllabus)」とは学校教育活動に関する計画書のことです。

【通知表「各教科の学習の記録」について】

① 各教科における『観点別学習状況の評価の観点』について

学習指導要領の目標及び内容が「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の資質・能力の三つの柱で再整理されたことを踏まえ、各教科における観点別学習状況の評価の観点については、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」となっています。

○「知識・技能」

学習の過程を通じた知識及び技能の習得状況について評価するとともに、それらを既有的知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、概念等を理解したり、技能を習得したりしているかどうかを評価します。

【見取っている内容】「何を理解しているか」「何ができているか」

【主な評価材料】 テスト（定期・単元・小テスト・技能＜パフォーマンステスト＞等） 指導に対する成果物（ノート・レポート・作品等） 授業の活動や発言 など

○「思考・判断・表現」

知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかどうかを評価します。

【見取っている内容】「理解していることを、どう使っているか」

【主な評価材料】 テスト（定期・単元・小テスト・技能＜パフォーマンステスト＞等） 指導に対する成果物（ノート・レポート・作品等） 授業の活動や発言 毎時間の授業の振り返り など

○「主体的に学習に取り組む態度」

知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているかどうかという意識的な側面を評価します。

【見取っている内容】「どのように学んでいるか」「学んだことを、人生や社会とどう関わらせているか」

【主な評価材料】 指導に対する成果物（ノート・レポート・作品等） 授業の活動や発言 授業の活動への取り組み方 毎時間の授業の振り返り など

② 『観点別学習状況』について

各教科の学習目標に対しその達成状況を観点ごとに3段階で評価します。その表示はA・B・Cで示します。

A: 十分満足できる B: おおむね満足できる C: 努力を要する
--

③ 『評定』について

観点別学習状況の達成の様子を基に、教科の学習の状況を総括的に評価します。

- ・ 1、2学期は学期別の評定をお知らせしますが、学年末には、1、2、3学期を総合的に判断したものを、「学年」の評定としてお知らせします。

※ 3年生は2学期を「1、2学期の積算評定」としてお知らせします。また、学年末は「1、2、3学期の積算評定」としてお知らせします。

- ・ 各教科の評定は5段階で表し、その表示は5・4・3・2・1で示します。
- ・ 表示は、中学校学習指導要領に示す目標に照らして、次のようになります。

5: 十分満足できると判断されるもののうち、特に高い程度のもの

4: 十分満足できると判断されるもの

3: おおむね満足できると判断されるもの

2: 努力を要すると判断されるもの

1: 一層の努力を要すると判断されるもの

（重要）それぞれの教科で、みなさんが学んだことをどのくらい達成（理解したり、技能を身につけたりすること）しているかを評価します。

【 通知表「総合的な学習の時間」の記録について 】

この時間に行った学習活動の状況について、その様子や身に付けた力などを記載します。学期ごととして、学年末にお知らせいたします。

【 通知表「特別な教科 道徳」の記録について 】

道徳性を養う学習活動に着目し、お子様の学習状況や成長の様子を記載します。学期ごととして、学年末にお知らせいたします。